



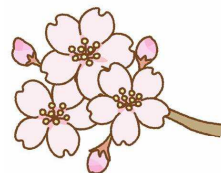
校長通信

令和6年度 1号 令和6年4月10日

和歌山市立河北中学校 校長 戸川定昭

《新年度当初のごあいさつ！》

春光うらかな好季節となりました。校門の桜も、9日に降った雨で多くの花卉は散ってしまいましたが、まだ一部、きれいに咲いています。



さて、私こと、戸川定昭、河北中学校の校長を拝命し、5年目となりました。今年度末で、役職定年となるので、河北中学校長として勤務する、最後の1年となります。ラスト1年、河北中学校がより充実した教育活動を展開できるよう、教職員と協力して精一杯取り組んでまいります。どうかよろしくお祈りいたします。

昨年度、校長通信を32号まで出しました。今年度も、学校の取組、生徒の様子、私の失敗談など、内容満載で刊行していきたいと思っております。なお、校長通信は過去4年分を含め、バックナンバーを河北中学校のHPに掲載しておりますので、必要に応じてご参照ください。

《入学式・新任式・対面式・始業式を挙行了しました！》

4月8日（月）、入学式を挙行し、104名の新入生を新たに迎えました。また、翌4月9日（火）新任式・対面式・始業式を体育館で行いました。入学式・対面式で、それぞれ新入生の代表者が、やや緊張した表情でしたが、落ち着いて、中学校生活の抱負を語ってくれました。



始業式、校長の式辞で、二つの言葉をおくりました。一つは、英語で Love your mistakes! 失敗を好きになって、様々な事に挑戦しようと言いました。失敗から学ぶことが多い、だから失敗を好きになろうというメッセージです。もう一つは、いつも話す「残心」です。様々な事に挑戦した後、残心の精神で、油断しないでしっかり結果を見直そうと声をかけました。生徒は、真剣に話を聞いてくれました。この生徒たちなら、この1年、しっかり前向きに学校生活をおくってくれると確信しました。

《私が校門に立つ理由》

始業式、朝7時45分から8時15分、春休みを経て久しぶりに校門に立ち、生徒を迎え入れました。新しいクラスは、どんなクラスだろう？担任の先生は誰かな？と、生徒は期待に満ちた表情で登校して来ました。結構はげしい雨が降って、たいへんな状況でしたが、朝から子供たちと気持ちよくあいさつできることに、しあわせをいっぱい感じました。過去4年間もそうでしたが、最後の1年間も、出張以外、できるだけ朝、校門に立って、子供たちにあいさつをしようと思っております。時には、学校に行きたくないなと思う時もあるかもしれませんが、おはようと笑顔であいさつして、少しでもエネルギーを与えることができれば幸いです。

また、育友会の方々、今年度も、子供たちへのあいさつ運動、よろしくお祈りいたします。